

～2023.11.3 兵庫支部懇親会の報告～

松栄堂の匂い香づくり体験

京都丸太町の香老舗松栄堂さんの薫習館（くんじゅうかん）におじゃまして、自分だけの匂い香づくりの体験をさせていただきました。

松栄堂は創業して300年余り、現在12代目になるそうです。宗教用から茶の湯の香、お座敷、匂い袋など、伝統に培われた心を守り継ぎながら、現代の新しい香りを創造し続けていらっしゃいます。現在社員200名のうち秘伝のレシピをご存知なのは2名の調合師の方だけだそうです。

はじめに、お香について教えていただきました。

原料として使用される天然香料は草根木皮、数十種類あり、香辛料や漢方として親しまれているものもあります。



お香を大きく分けると①直接火をつけるタイプ②間接的に熱を加えるタイプ③常温で香るタイプがあります。①

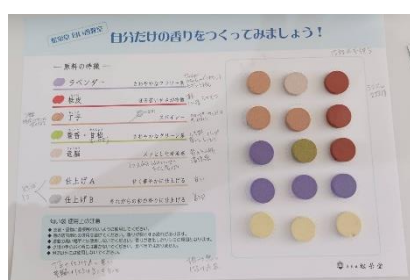
はスティックや渦巻、コーン型などあり、空間をしっかりと香りづけることができます。

②は練香（蜜などで練った丸薬状）や印香（型に入れて押し固めたもの）などで、炭の灰を通して柔らかい熱を加え、煙の量をコントロールできます。③は匂い袋やしおりなどでクローゼットなど移り香を楽しみます。



つぎに、匂い袋を作成しました。

まず7種類のタブレット（直径2cmほどの香り玉）を自分好みに15個選びます。それを袋の中で丁寧に砕き、好みの色の袋に入れます。





7種類の香りをどのように組み合わせるか、ほんとうに難しかったです。いろんな香りに包まれながらあれこれ悩んで仕上げ、帰りましたらカバンの中から優雅な空気がいっぱい香り立ちました。しばらく良い空間で過ごせそうです。

参加された会員さんも大変喜ばれていました。ありがとうございました。



薫習館は天井が高く、香りがいっぱいのとても素敵な空間です。香りの体験コーナーもあります。大学からも近いのでぜひ足を運んでみてください。

